

新年、あけましてお

めでとうございます。

新年が明けてから1ヶ月が経過しました。

今更感がいっぱいですが、皆さんはどんな

2015年を過ごしましたかー？

私は人生初のニートを経験したり、その2ヶ月後には名古屋に引っ越すことになったり…とても変化のある、そして感慨深い1年になりました。

昨年末はお休みをいただいて、3年ぶりに家族と一緒に年越しをすることができました。

大晦日の日にノロウイルスにかかるという予想外のアクシデントもありましたが(笑)、久しぶりに追われるものがない生活の中で、精神的にも肉体的にも休憩することができました。



◀実家で飼っているトイプードルたちも、ちゃんと私のことを覚えていてくれました。(この他にもう1匹飼っています)

昨年はチャレンジが多い1年でしたが、今年は「新しいことにチャレンジ!」というよりも、今自分に与えられているものを見極め、それをフルに活用できたらいいな…と思っています。そういう意味では、「昨年以上にアクティブに!自分らしく!」1年を過ごしたいです。

さて、今回はニュースレターの発行が遅れてしまったので、2015年12月と2016年1月の合併号とさせていただきます。

そして、ひとつひとつの動きをみていくと紙が何枚あっても足りなくなってしまうそうなので(笑)、今回はその中でピックアップしたものを記載したいと思います。(☆印のついている動きを報告します)

次回からはまた、月1での発行を目指していきます。今年も1年、よろしくお祈りします!

2016年2月12日  
寺沢愛那

## -12月の主なはたらき-

12/5 SPリハーサル

12/13 スイーツパーティー(お話)☆

12/20 クリスマス礼拝(証し)/祝会(司会)☆

12/21より正規採用

12/22 日進クリスマス会(ゲーム担当)☆

12/24 クリスマスイブ賛美礼拝(PWP/写真撮影)

12/27 中高生年末イベント(鍋パーティー)☆

12/28-1/8 冬季休暇

※一部抜粋

12月はクリスマスの時期だったこともあり、たくさんの場所で奉仕する機会が与えられました。

12月13日のスイーツパーティーでは、「たいせつなきみ」の絵本からメッセージをしました。



◀「能力や見た目」で価値判断をされる世界に住む木の小人・パンチネロ。生きる意味や存在価値を見失いかけていたときに、パンチネロを創ったエリに会いに行く。周りの評価ではなく、創造主にどう思われているかが一番大切であることを知る…というお話。

この本は個人的にとっても好きな本で、読むたびにほっとさせられます。絵本の中で、主人公のパンチネロが周りの小人たちから貶されて「だめ印シール」を貼られるシーンがあるのですが、この本を読むといつも「私も人からの評価や自分の評価に翻弄されているな…」ということをも反省させられます。

絵本を読んだ後は、イザヤ43:4のみことばから、「私たちにも創造主がいて、その御方にどう思われているかが一番大切なんだよ。」というお話をしました。

今回もたくさんのおともだちが来てくれましたが、割と長めのお話にも、真剣に耳を傾けてくれたのが印象的でした。



written by manyamo

12月20日は、クリスマス礼拝の中で正規採用の証をさせていただきました。（内容は、一番最後のページに掲載）

その後の祝会では司会と企画を任せられ、目玉として、今年は私の大好きなBINGO大会を企画してみました^^



◀今回は「自分では買わないけどもらったら嬉しいもの」をテーマに景品を揃えてみました。意外に「第3の洗剤」が子どもにも大人にも人気でびっくり！（笑）

祝会では他に、毎年恒例の各会の出し物もしました。



祝会に参加して、改めて「教会は幅広い世代の人たちが集まる場所なんだな」と思いました。育った環境も、時代も違う私たちがただイエス様への信仰の故に、ひとつのところに集められている…というのは、本当にすごい話です。もう一度、ここに遣わされた意味を問われた気がしました。

22日には、名古屋市の隣にある日進市まで出張して、信徒の方の家とその隣にある公園を使ってクリスマス会を行いました。

今、名古屋緑福音教会に来ている子どもたちの多くは隣町の日進市から来ます。（教会から車で15分ほどです）その現状もあり、私が発案してクリスマス会を企画してみました。



当日集まったのは、約35名のおともだち！私は、ゲーム担当として奉仕しました。



◀おかし食い競争。好きなお菓子めがけて走ります。みんな必死です。



◀飴くい競争もやってみました^^終了後は誰が誰だかわからなくなって大変…。(笑) みんな日本エシキテル連合の「あけみちゃん」にみえる～



◀楽しいゲームの後は、「じゃがコロ紙芝居」から聖書のお話を、家を提供してくださった信徒の方がしてくれました。みんなお話のときは真剣です。

当日は、おともだちがおともだちを呼び、たくさんのおともだちが集められて、とても感謝でした。今回は単発で日進地区のイベントを行いました。これから先の働きのためにも祈っていきたいと思います。

そして、2015年最後の日曜日には午後から中高生のイベント・「鍋パーティー」を行いました。



◀事前にプロフィールを書いて、お互いのプロフィールを見せ合いながら共通点を探すゲーム中。真剣です。



◀集会では、元気よく賛美！うちの教会の中高生には、「みどり野キリスト教会」のぶっとび賛美が人気です^^



◀集会後の鍋パーティーでは、4種類（多分…）の鍋を作って、みんなで楽しみました。私は久しぶりにお腹がはちきれるレベルまで食べました。(笑) 帰りの自転車での道のりがいつも以上に陰しく感じたのは内緒です。

written by manyamo

普段教会に来ているレギュラーメンバーの他、誘われて初めて来た中高生や久しぶりに来た子もいたりして、計12名の中高生が集まりました。

普段の礼拝・分級の時間ではあまり見られない一人一人の隠れた一面も垣間見られて、感謝でした。今年は、頻度を増やして中高生のイベントを計画して、みんなの意見を聞きながら色々練っていききたいなあ…と個人的に思っています。

## -1月の主なはたらき-

- 1/10 中高生分級担当開始☆
- 1/17 メッセージ奉仕 (中高生礼拝)  
CSミーティングショートメッセージ
- 1/30 野田詠氏師 講演会 (申込受付・写真撮影) ☆  
※一部抜粋

1月より、中高生礼拝の毎週の分級を担当することになりました。

名古屋緑福音教会では、中高生礼拝後1時間15分ほど、別室で分級の時間を持っています。賛美したり、その日のメッセージの暗唱聖句を覚えたり、スープやお菓子を手にメッセージの箇所を読んでみんなで内容を掘り下げていたり…ということをしています。

昨年までは、他のスタッフの方にやっていたのですが、12月21日より正規採用になった経緯もあり、1月10日から基本的に毎週の分級を任されるようになりました。

分級は、メッセージと違ってみんなの反応に気を配りながら進めなければいけない部分もあって難しさも感じています。既に分級担当になってから1ヶ月が経過しましたが、未だに毎週緊張します。(笑)

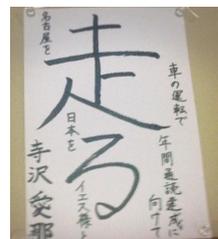
そんな分級ですが、記念すべき第一回目は「新年の抱負」をみんなですべて書いてみました!



◀せっかくなので、筆ペンで達筆に、上品に書きました!分級部屋に今年一年貼ります。1年後、自分の書いた抱負について語れたらいいなあ…。

ちなみに私が書いた抱負は…。「走る」です。(笑)

車の運転で名古屋を、そして一人旅が好きなので日本中を、昨年達成できた年間聖書通読に向けて、今年も走りたい…という思いから「走る」という抱負にしました。



特に車の運転は、今年本当に頑張りたいことのひとつです。(笑) ペーパードライバーからそろそろ脱出できるように頑張ります!

また、30日には教会で野田詠氏師の講演会を行いました。

野田先生は、元少年院に入っておられた方で、その中で聖書を読み、救われて、今では大阪にある教会で牧師をしながら、少年院や刑務所を出所した方々の更生支援活動も行っていきます。



今回は、「思春期の子どもとの接し方」というテーマでお話を伺いました。



当日写真撮影などの奉仕があったので、部分部分でしか話を聞くことができませんでしたが、最後に野田先生がされた



「私は、宗教を伝えたいのではない。キリスト教を伝えたいわけでもない。ただ、この方を伝えていきたい。」という言葉がとても心に残りました。日々の生活の中で「何が正しいことなのか」といつも問われ続け、色んなものに流されそうになりますが、それこそが急遽の使命だな…と改めて思われました。私も理屈に捉われず、生き方で証しできる人になりたいです。

## -2月の主な予定-

- 2/20~21 男子リトリート
- 2/21 洗礼式
- 2/28 焼きマシュマロパーティー written by manyamo

最後に、クリスマス礼拝の中で証しを載せたいと思います。

「一人だけど、独りじゃない」

寺沢愛那

この半年間、本当に色々なことがありました。

聖書を学ぶ大学を卒業したと言っても知識が乏しく実務経験が0の私にとって、毎日がチャレンジの日々でしたが、



その中でも私にとって一番大きなチャレンジだったのは「一人で生活する」ということでした。

感謝なことに、私は今まで人に囲まれて生きてきました。誕生してから高校卒業までは家族に囲まれて、大学時代は寮での共同生活、卒業してからの一年間は一人暮らしだったものの、大学時代の友人が周りにたくさん住んでいたの、辛いとき・悲しいとき・寂しくなったときには、いつも助け励ましてくれる「誰か」が必ずいました。

しかし、名古屋に来てからはそうもいかなくなりました。平日教会に来て一人、家に帰っても一人、休みの日も一人。来る前にそれなりに覚悟はしていましたが、一人っ子育ちなので一人でいる時間に苦痛を感じたことは今までありませんでしたが、常に一人の時間が続く生活に、段々と孤独を感じるようになっていきました。

自分の思い通りにいなくて落ち込んだり、人からの言葉に翻弄させられて右往左往したり、人と比べて自分を裁いたり、自分の底知れない罪深さに気付かされて心折れたり…。以前ならそんなとき、友人とおいしいものを食べに行ったり、「また明日から頑張ろう」と気持ちを切り替えたり、互いの近況を分かち合い、祈り合ったり元気をもらうことができていましたが、ここでは一人。

行き場のない感情をぶつける相手もない。いつまで続くかわからない孤独の日々に涙したこともありましたが、そんなときいつも私を支え励ましてくれたのは、やはりみことばでした。



ある時は聖書通読を通して、SPリハーサルの学びの準備を通して、メッセージを通して、受洗準備クラスの学びを通して、賛美を通して。

折れそうになる、もう頑張れないと思う私を神様が御手を伸ばし、いつも励まし続けてくださいました。

私がこの半年間を通して学んだこと。それは、「一人だけど独りじゃない」ということでした。そして、今まで口では「イエス様と一緒になら、一人でも大丈夫」と言っておきながら、結局目に見える励ましを与えてくれる「人」に頼って生きてきたことに気付かされました。

私の状態がいいときも悪いときも、いつも共にいてくださるイエス様と一緒に生きる幸いを身をもって体験することができたのが、この半年間でした。それは、名古屋緑福音教会に来なければわからなかったことでした。

これからも、孤独に感じることもあるでしょう。思いがけないたくさんの壁にぶつかって、心折れそうになることがあるかもしれません。でも、この半年間で身を以て教えていただいた「イエス様と一緒に生きる」ということを思い出して、その度にみことばに諭され、励まされ、歩んでいきたいと思いません。

最後に孤独なときに私を励ましてくれたみことばを紹介して、証しを終わります。

「人はみな草のようで、その栄えは、みな草の花のようだ。草はしおれ、花は散る。しかし、主のことばは、とこしえに変わることがない。」（第1ペテロ1:24-25/新改訳）